

# 技術の棚卸に基づく 技術戦略マネジメントシステム構築のご提案

昨今、多くの日本企業で国内需要が頭打ちとなるなか、新たな事業展開や海外への事業展開が求められており、注力すべき技術領域が変化しています。領域の変化に伴い、あらためて目指す技術の方向を定める必要があり、「技術戦略」の必要性が増しています。

当社のこれまで知見を活かし、貴社において技術戦略を継続的に策定していくためのマネジメントシステム構築をご支援いたします。

## 本提案が想定する貴社の課題

- まず「現状把握」を行いたいが、技術の棚卸で苦労している。
- 技術戦略を「どのように」、「誰を巻き込んで」作成すればよいか悩んでいる。
- 技術戦略立案（技術企画機能）を業務として自社に定着させたい。

## ご提案主旨

### 1 技術の棚卸のご支援

- 技術の棚卸は、経営・事業戦略との整合性確保や全体最適検討のために必要な取り組みの一方で、失敗の多い取り組みでもあります。当社の独自の метод論（テクノロジーリソースマネジメント：TRM®）やテンプレートを活用し、「必要十分」な棚卸のご支援をします。

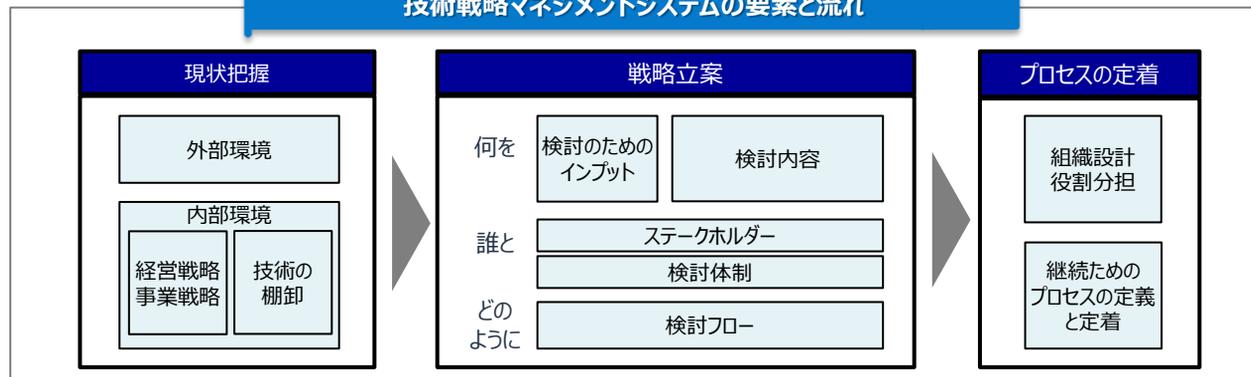
### 2 技術戦略立案の伴走

- 事業戦略と技術戦略の紐づけ方、全社技術戦略と個別技術戦略の関係づけ方、技術戦略で決めるべき項目、内容の粒度、関係者との調整など、技術戦略立案の論点について貴社の実情にあわせてアドバイス致します。

### 3 継続性を担保する立案プロセスの整備

- 技術戦略立案の伴走で得られた知見を整理し、貴社の実態に沿って、技術戦略を継続的に立案・見直しするためのシステム（＝技術戦略マネジメントシステム）の整備をご支援します。

#### 技術戦略マネジメントシステムの要素と流れ



# プロジェクトの進め方

## フェーズ1：技術の棚卸し

### ①技術体系策定

- 貴社技術を俯瞰する固有の技術体系策定を支援します。
- 既存の取組がある場合はその内容をインプットに、当社方法論（TRM®）やテンプレートを活用し策定します。

### ②現状調査・分析

- 現状の保有技術の調査を行います。
- 研究テーマ、知財、対象者へのアンケートなどを組み合わせ実施します。
- 調査結果に基づき、現状分析（リソース配分の現状、強み／弱み）を行います。

## フェーズ2：技術戦略立案プロセス構築

### ③技術戦略策定

- 外部環境、内部環境を分析し、事業との対応を明確化して技術戦略を策定します。
- 貴社中心で戦略策定を行い、当社が適宜アドバイス致します。

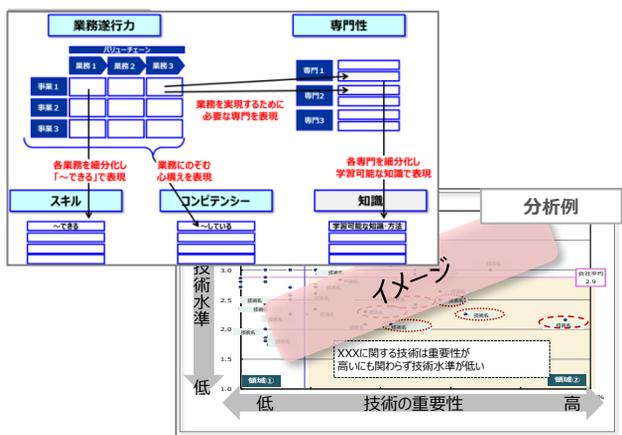
### ④プロセス整理

- 技術戦略立案を継続して行うために、業務プロセスを整理します。
- 必要に応じ、プロセス実行に関わる組織設計を行います。

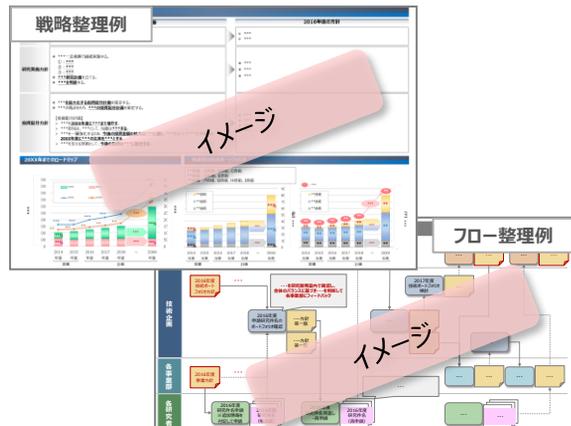
※フェーズ1、フェーズ2それぞれ単独での実施も可能です。

## アウトプットイメージ

### 技術の棚卸し



### 技術戦略立案



## 当社の特徴

- 技術に強い国内有数の「シンクタンク」による「コンサルティング」であり、技術と事業の双方の理解に基づき、実現性・実効性の高い技術戦略マネジメントシステム構築を支援いたします。
- 技術の棚卸し、現状把握について独自の方法（TRM®）を有しており、これまで50社以上でのコンサルティング経験があります。豊富な知見に基づきアドバイス致します。
- 貴社固有の事情や利害関係に影響されず、第三者の視点で最善の方策をご提示します。

## 実施期間

各フェーズ約4か月（実施範囲、実施内容により変わります）

## お問合せ先

株式会社 三菱総合研究所

営業本部 TEL：03-6858-3493 Email：service@mri.co.jp

（担当 デジタルイノベーション部門 ビジネスコンサルティング本部 松浦、原田）

MRI 三菱総合研究所

※無断での複写・複製・転記及び第三者への開示を禁じます。